

地域を耕す、6つのステップ

必要な情報と安心できる時間、多様な他者との関わりを育む

▶STEP 1

多様なイベントを実施して、地域の住民や事業者が来館するきっかけをつくり、図書館の目的と機能を正しく知ってもらう。

「運営・安心安全」担当のファーマーが大活躍！



▶STEP 2

少数の住民が見守りさんとして仲間に加わり、図書館の開館日数が増える。やりたいときにやりたいことを楽しくやる、を实践する。

「運営・安心安全」担当のファーマーが大活躍！



▼STEP 3

地域の事業者が図書館で住民と交流したり、住民が相談しやすい環境をつくる。住民の相談を聴き外につなぐ。また、事業者同士のつながりをつくり事業者が住民をサポートしやすい環境をつくる。

「相談・ネットワーク」担当のファーマーが大活躍！



▲STEP 6

見守りさんと地域の事業者がつながり、図書館を運営するようになる。

「相談・ネットワーク」担当のファーマーが大活躍！



◀STEP 5

見守りさんが増える。子どもも大人も、やりたいことをやりたいときに楽しくやり、子どもも大人も見守りさんとして仲間になる。

「運営・安心安全」担当のファーマーが大活躍！



◀STEP 4

看護師・障害支援員・学習支援員など専門職の人が定期的に在館する。地域住民の悩みの中でも専門知識を必要とするものに対応する。

